

日刊 動労千葉

86.8.28

No. 2332

国鉄千葉動力車労働組合

(千葉市要町二一八 (動力車会館)
(鉄電)二九三五六・(公衆)〇四七二二二七〇七)

物販オルグ奮闘記 告白

山陰・山陽の職場60カ所を訪ねて

(協販部・K生)

中国地方・山陽と四国にひき続いて、七月一～五日にかけて山陰の米子から出雲、浜田、山口県の小郡、下関、徳山へ足をのばし六〇カ所の職場を訪問し物資販売運動を展開してきました。途中、広島から米子までのバス路を五時間かけての大移動。

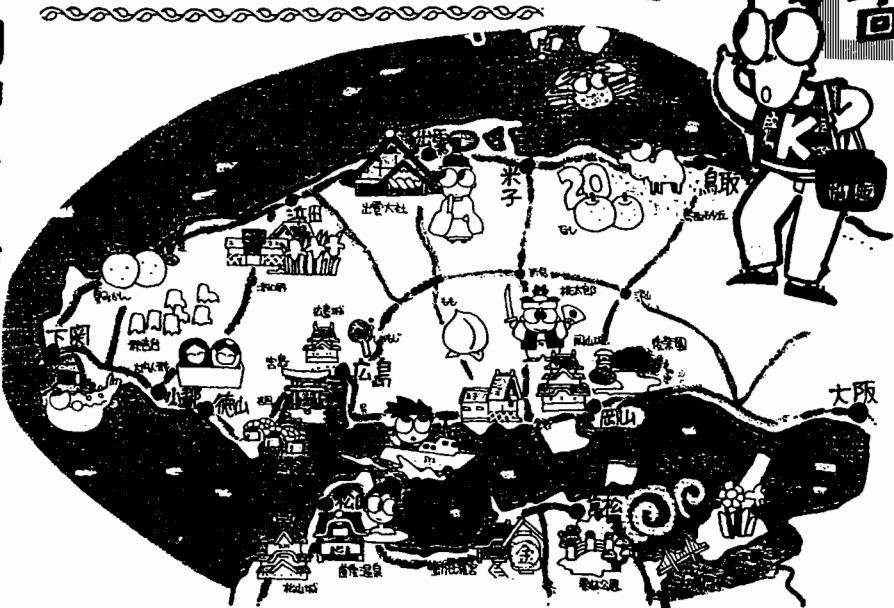
心を熱くした暖い交流・切実な意見

一口一カル 線廃止攻撃にさらされ――

初日、国労、私鉄、全通、教組、県職など二八ヶ所を回りました。とくに国労の仲間からの、「山陰地区は自動車が走っているが、分割・民営になつたらすべて廃止になつてしまふ。なんとかしなければ」との切実な意見を聞き心が熱くなりました。

二日目、早朝、出雲大社に。霧の中に浮かぶ大社は壯觀であり、心をなごやかにしてくれました。気持も新たに昨日に引き続き、さらに強力に物販運動を展開しました。夕方には山口へ向けて自動車に揺られました。

三日目、山口では、A機関区の役員が「二十八人も解雇され大変だろう」と五千円ものカンペを出してくれました。さらに夜は部落解放同盟の方々と交流会をもちました。子供を抱え参加した主婦や気性の実にサッパ



りした支部長との話に時のたつのも忘れるほどでした。本当に心温まる交流会の後、その夜は同盟の方の家に泊めてもらいました。

「物販だら、知つていいよ」「ストで闘いたい」

そして最終日、この日はビック

クリするようなことがおきました。B車掌区に行くとあいさつする前にむこうから「千葉動労の人だろ。ビラ読んでいるよ。物販の話だろ。こちらに入りなさいよ」と招き入れられました。まさに日刊『動労千葉』ここにあり、を感じました。そして最後の最後に訪ねた全通の職場では、本当に闘いを求める青年労働者と会い「動労千葉のようにストで闘いたい。どのようにストを作りあげたのですか」と真剣に話しかけてこられ、圧倒される思いでした。

国鉄問題を自分達の闘いと位置づけ、闘いを熱望する若い力にひさびさに出会つた気がしました。

報告したい感動的な出会い、出来ことは数えきれないぐらいあつた山陰訪問の旅でした。ここではほんの一例しか紹介できませんでしたが、全国で動労千葉の闘いを支援し、闘おうとする仲間が多くいることをしみじみ感じて帰路につきました。

(寄稿・協販部K生)

協販部によせられた全国からの注文と激励より

動労千葉の皆様へ

